

●荒涼たる空地のあちこちに、真新しい花束や小さなお地蔵さんが置かれている。一見平和そうに見える、市原に良く似た地形の被災地。いまだに鎮魂と再生の狭間にいる被災者の生の声をお聞きする。深くて重い旅だった。 松井哲洋(惣社)

●「想像を超えた自然災害は起きる」とふりしほった声。「足の悪い祖母が避難するためには車を使うしかなかった」と命をしほった声。悲痛な声を直接聞いたことが私たち市民の防災のヒントである。 今野正子(大原)

●石巻市では、「多くの人が訪れ、被災地の惨状を見に来てくれるだけでもよい。そして、一日でも早い復旧計画の決定と実施を」と強く訴える被災者の話を聞き、復興の一歩も早い事を願わずにいたいられませんでした。 土橋幸夫(桜台)

いちはらネット掲示板

連絡先 21-1907

療育相談会

育ちにくい子どもについて語り合いませんか

6月30日(土) 時間 13:30~16:00

講師: 津田 望(のぞみ牧場学園理事長)

場所 三和保健福祉センター
(サンハート) 1F 研修室

☆保育あり ☆参加費 無料

●アートギャラリー● 今後の展示のお知らせ

5月 陶芸品とちぎり絵展

吉川寅夫・キク枝

6月 ドールとバッグ2人展

竹浪安巳

7月 写真展「千葉県と市原市の巨木」

石川松五郎

8月 日本画展 船越大祐

あなたの作品を展示しませんか?

会場の使用料は無料

サークルの発表会などご利用ください。

*展示期間 1ヶ月です。

開館 月曜日~金曜日(土・日・祝日は休館)

*閲覧時間 10:30~16:30

*作品の委託販売もできます。

●暮らしなんでも相談●

毎月 第4月曜日

*事務所内にて議員が対応します。

東日本大震災の被災地の状況を見ることにより、被災地支援のあり方や、市原市の防災活動にも役立てられないかと考えました。最も被害の大きかった石巻市と名取市を訪問しました。名取市は、市原市および民間の災害支援ボランティア団体が、震災直後から支援してきたところです。



NPO法人「ぐるっと」のボランティアの方から現場の被災状況を聞く。被災者や見学者の仮設トイレがほしいと相談を受ける



名取市閑上地区で家を流された木島さんが、避難した当時の服装で、津波襲来時のことや避難所状況を語ってくださいました

高く積まれたガレキの山



5,800人が住んでいた閑上地区的住宅街が消えてしまった



石巻駅近くに作られた仮設の商店街

廃自動車は所有者の許可がいるので勝手に処理できない



石巻漁港(魚町地区)は全国第5位の漁港。周辺の水産加工工場も被災し復興がまならない状況



防波堤道路沿いの4mの防波堤。こんなものでは役たたず。復興計画では堤防代わりになる高盛土道路(高速道路のような県道)が計画されている